

第六十三回（平成二十九年年度）江戸川乱歩賞のお知らせ

日本の推理作家への最高の登竜門・江戸川乱歩賞（日本推理作家協会主催）は、書き下ろし長編ミステリー小説（三五〇～五五〇枚）を公募し、昭和三十二年の仁木悦子『猫は知っていた』以来、昨年度の佐藤究『QJKJQ』に至るまで、大型新人と傑作を輩出してきました。また、平成四年度からフジテレビジョンの後援を得て、賞金一〇〇万円を贈呈し、作品を同局にて随時映像化しております。本年度の応募作は三百二十六編の多きに達しています。すでに予選は終了、最終候補作五編を選考委員が精読中で、左記の通り選考委員会を開き、今年度の当選作を決定いたしますので、候補作品名および作者の略歴をあらかじめお知らせいたします。

平成二十九年五月九日

講談社文芸第二出版部 里村孝人

TEL	5 3 9 5	3 5 0 5
FAX	3 9 4 4	9 1 3 9
TEL	5 3 9 5	3 4 1 0
FAX	3 9 4 4	9 9 0 8

【江戸川乱歩賞概要】

◎主催 日本推理作家協会（代表理事・今野敏）

◎後援 講談社・フジテレビジョン

◎選考委員会 日時／五月十五日（月）午後四時より

◎選考委員 有栖川有栖、池井戸潤、今野敏、辻村深月、湊かなえ

（五十音順・敬称略）

◎正賞 江戸川乱歩像

副賞 賞金一〇〇万円

◎受賞記者会見 日時／五月十六日（火）午後二時より

【第六十三回の候補作（原稿受付順・著者敬称略）】

「バイオスファイア3」 柳沼 庸介

「タンポポの種は蒔いてはいけない」 竹原 千尋

「夜のトリケラトプス」 山田 風太

「古傷同志」 牧本 圭太

「アップルピッキング」 光月 涼那